

北条砂丘農業活性化プラン ～魅力ある砂丘地農業を目指して～ 《概要版》

プラン作成主体名：北栄町

区分(対象地区)：旧村地域(北条砂丘)

平成25年2月

北条砂丘の現状

- ①農業者の高齢化・担い手の不足
- ②耕作放棄地の増加
- ③生産資材の高騰
- ④主要作物(らっきょう、ぶどう、長いも、葉たばこ)の生産者、作付面積の減少

そんななか・・・

平成23年、JTの葉たばこ廃作募集により、葉たばこ農家、作付面積が半減

農家数 38戸 ⇒ 19戸

作付面積 52.5ha ⇒ 24.6ha

このままでは耕作放棄地は増大し、北条砂丘農業は衰退してしまうのでは・・・

そこで、

「北栄砂丘地農業活性化プロジェクトチーム」
の結成（平成23年10月）

⇒がんばる地域プラン

「北条砂丘農業活性化プラン」の作成
（平成24年度）

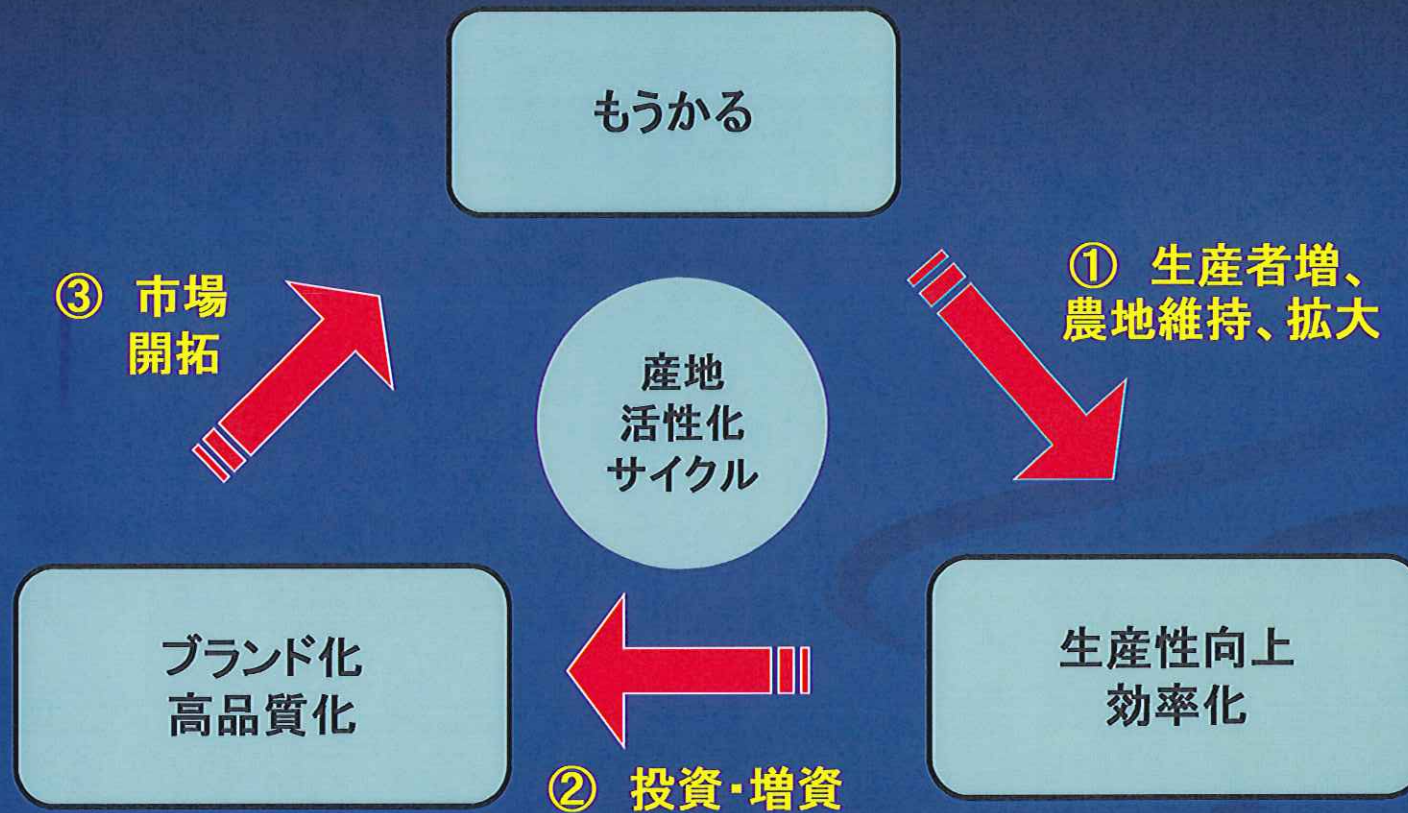
将来像

「未来へ繋がる魅力ある北条砂丘農業」

そのためには、

- ・産地を活性化させるサイクルを生み出そう！！
- ・「作って売る農業から、売れるものを作る農業」を目指そう！！

産地活性化サイクル



支援事業内容

①生産者増・農地拡大

新規就農者、後継者支援

担い手支援

農地利用

② 投資・増資

機械導入

実証栽培・試験等

③ 市場開拓

webによる情報発信

販売強化

グリーンツーリズム活動

①生産者増・農地拡大

新規就農者、後継者支援

担い手支援

就農相談員の配置 : 就農及び後継者育成のための
相談及び心のケアを行う

農地利用

緑肥作物の奨励 : 輪作を推奨し、農地の有効活
用と耕作放棄地の再生支援を行う

② 投資・増資

機械導入

機械導入による省力化、効率化の支援を行う

実証栽培・試験等

栽培実証、栽培障害対策等生産向上に向けた
試験を行う

専用出荷箱の作成 : シャインマスカット専用の出荷
箱の原版を作成する

③ 市場開拓

webによる情報発信

農業体験商品と農産物等の販売サイト管理(作成、運営)を行う

販売強化

比較的販路が拡大していない関東圏を中心としたトップセールスや、シティセールス、販促イベント(アークヒルズ森ビル)等への開催への参加を行う

グリーンツーリズム活動

旅館業、旅行業の資格取得を行う

Webサイトを利用した情報発信とブランド化

目的

- ・情報発信 → ブランドイメージの向上、ファン獲得
- ・web販売 → もうける

だけでなく

サイト上での農産物、農園体験商品の販売による

「消費者ニーズに応える農家の育成」

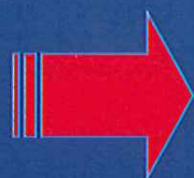


作って売る農業から、売れるものを作る農業へ

消費者ニーズに応える農家とは

消費者の求める農産物・商品を生産し、販売する農家

こういった農家が増えることにより
産地活性化サイクルが継続的に循環



魅力ある北条砂丘農業へ

プランの目標(目標年度:平成29年度)

- (1)担い手、新規就農者及び農業後継者を5年間で5名確保
- (2)耕作放棄地を5年間で8.5ha削減
- (3)核となる品目(らっきょう、ぶどう、長いも・ねばりっこ、白ねぎ)の栽培面積の維持・拡大
 - らっきょう 87.0ha→97.0ha ぶどう 35.5→36.0ha
 - 長いも・ねばりっこ 30.0→35.0ha 白ねぎ 16.0→22.0ha
- (4)6次産業化の推進による農業所得の向上
- (5)新たなブランド創出
- (6)北条砂丘農業のファン獲得

プランの具体的内容

(1) 担い手・新規就農者の確保に関する取組

① 安心して参入できる取組

就農相談員の配置、営農資金及び生活資金の支援、関係機関との連携による就農相談、就農情報のDB化

② 規模拡大等への支援

認定農業者への各種支援制度の周知、集落営農の情報提供、農地の斡旋・確保及び各種制度等の相談

(2) 農地利用の効率化・維持管理に関する 取組

① 農地の利用集積を図る取組

担い手への農地集積、総合的な利用集積を図るための話し合いの促進

② 耕作放棄地の有効活用への取組支援

農地集積・耕作放棄地の有効活用への支援、灌漑施設整備支援の検討

③ 農地の維持管理する取組支援

土地利用作物の推進、輪作の推奨、農地・水環境保全活動との連携、IJUターン受入体制の整備

(3) 核となる品目の生産振興に関する取組

核となる品目・・・らっきょう、ぶどう、長いも・
ねばりっこ、白ねぎ

① らっきょう

- 洗いらっきょうの共同選果(切子作業)の検証
- 種球の温湯処理の推進
- 融雪効果の検証
- 機械導入による省力化、重労働の軽減
- 「塩らっきょう」の加工方法の確立
- 黒らっきょうによる消費の拡大

②ぶどう

- ワイン加工用ぶどうの実証栽培
- シャインマスカットの育成
- 剪定、ハウスの被覆作業の協力体制の構築検討
- 剪定枝の有効活用

③長いも・ねばりっこ

- 黒陥没症、ネコブセンチュウの原因究明
- 定年帰農の推進
- 中古機械の継承
- 耕作放棄地の活用
- 生産機械(掘り取り機)の開発
- 洗浄機の導入

④白ねぎ

- 日量2000ケース出荷(12月から1月)への取組
- ・新規栽培者向け研修会・巡回指導の実施
- ・耐暑性があり、太りの良い品種の選定・導入
- ・天候にあわせた施肥体系の確立
- ・土壌消毒展示圃場の設置検討および土壌消毒機のレンタルや作業委託の協議
- ・白ねぎにあった灌水利用を可能とするための農地集積や農地流動化の協議
- ・巡回や指導による、効率的な出荷作業が可能な圃場整備
- ・収穫・調整作業の効率化を図るため、皮むき機の導入
- 「砂丘美人」のWeb販売

(4) 6次産業化と農商工連携、販売力強化 による北栄ブランド確立への取組

① 6次産業化と農商工連携の推進

- 加工用ぶどうの実証栽培、加工、販売の推進
- 6次産業化による農産物の新たな分野に挑戦する経営体の育成

② 加工商品の開発支援

- 意欲的な団体の販売拡大支援
- 生産・加工等の技術指導、組織育成、普及活動、各種事業の有効活用との支援
- 生産者、商工業者、流通業者、地方自治体の農商工連携による商品開発、販路開拓の取組

③Webサイトを利用した情報発信とブランド化の推進

- Webサイトを活用した農業体験受入整備、農家と消費者の情報交換、特産品販売などによる北栄ブランドの創造と確立
- 「地産都消」モデルの構築

④販売強化（販路拡大）の支援

- 農産品パンフレット・チラシの作成
- 物流効率化、物流コストの縮減策の研究と検討
- 計画初年度に、大消費地でのイベント開催によるニーズ把握等による新規開拓
- 計画最終年度に、大消費地でのイベント開催による販売チャレンジ

⑤食の安全と地域振興

- 北栄町独自の認定基準による食の安全を実践する農家と農産物の育成(コナンファームの育成)

(5)新たな栽培品目確立への取組

- ①甘草、ブラックベリー栽培の取組
- ②ゴボウ栽培における坪腐れ症の原因究明
- ③その他北条砂丘に適する可能性を秘めた栽培品目の選定

(6) 他分野との連携強化への取組

- ① グリーンツーリズムの推進
- ② 北栄味覚めぐりの拡充
- ③ 旧東保育所を利用した農家レストラン・ワイナリー構想
- ④ 高齢者・障がい者が生きがいを持って働ける環境整備の推進
- ⑤ 教育関係機関への要請行動
- ⑥ 町独自のエネルギー自給施策との協調

支援事業の事業費(5年間合計)

事業名	事業費
就農支援事業	4,400千円
農地利用支援事業	1,944千円
機械導入等支援事業	31,380千円
実証栽培・試験実施事業	1,861千円
情報発信事業	31,230千円
販売強化活動事業	11,835千円
グリーンツーリズム活動支援事業	960千円
合 計	83,610千円